

令和4年度 第4回常任理事会 議事録

日 時 令和4年8月6日(土) 10:00~
場 所 北農健保会館
出席者 印藤智一、丸山道博、家近昭彦、田中昌幸、
齊藤幸治、石崎 賢、川崎尚子、奥山 諭、
坂本雅春(議事録)、嵯峨亘道、明井寿枝、
道ビーチ連盟 高橋由寛、栗木秀明(オズバー)

<進行：家近副理事長>

1 開 会

議事録署名人に印藤理事長のほか、家近副理事長、奥山常任理事を指名。

2 理事長あいさつ

今回は、第2回理事会への提案に向け、基金管理や法人化等の課題検討について協議するのでよろしくお願いします。

3 協議事項

担当者から以下のとおり説明があり、了承された。

(1) 第2回理事会の開催について

①各種基金及び基金活用事業の見直し(案)について (齊藤総務委員長)

- ・現行3基金を財政調整基金と強化育成基金の2基金とし、財政調整金には、周年事業費や財政調整費として一定額を確保する。
- ・従来は財政調整基金と特別事業等基金の残額は、強化育成基金に段階的に移行することとしていたが、強化育成目的の基金を複数持つことになることから、一括移行に変更したうえで、基金残高を明確にしつつ、基金活用事業を適正に精査しながら、効果的な基金活用を図っていくことを、次回理事会に提案する。

②経理管理事務の見直し(案)について (齊藤総務委員長)

- ・他都府県協会が発生した着服事案を受け、当協会においても、経理管理事務のより一層の適正化を図る観点から、見直しが必要と考える。
- ・見直しの内容は、現行の執行状況確認事務を、四半期ごとの年4回とするほか、4月から3月執行分を監査する年度監査の中間期に中間監査を加え年2回とし、中間監査・年度監査終了後の直近の理事会で監査報告するよう見直すことを次回理事会に提案する。
- ・各委員会においても、これまで以上に適正な経理事務をお願いします。(印藤理事長)

③Vリーグチームとの業務委託契約について(印藤理事長)

- ・6月18日にヴォレアス北海道・サフィルヴァ北海道と道内大会の業務委託契約について、9月末締結を目指し協議している。

④高校選手権大会北海道予選会の開催について(石崎競技委員長)

- ・保護者応援を各チーム30名(最終日は人数制限なし)とし、チェック済が一目で分かるようIDカード等の携帯を検討する。
- ・ラインジャッジは札幌の高校生に依頼する。
- ・当日の朝に代表者会議(監督、主将)、開会式を実施する。

⑤その他

・大会経費は大会参加料で賄うことを基本としているが、国体ブロック予選（成年）の参加チーム数が少なく、決算で開催地協会の負担が生じた。

今回は全国大会等助成金交付要綱を運用し、開催地協会負担額の2分の1以内の額を道協会に補填するよう、開催地協会と協議する（齊藤総務委員長）

・国体参加チームが少ないという現状に危機感を感じている。今後に向け、強化委員会等で、現状の振り返り検証をお願いする。（印藤理事長）

（2）法人化の検討について

・日本協会からも各都道府県協会の法人化を推進する旨の発言もあり、道協会としてもこれを機に法人化を進めていく必要があると考えている。

行政書士からアドバイスをいただき、法人化に向け、多くの書類作成や手続き等が生じるが、それらを事務局が担うのは困難となることから、費用負担は生じるが、専門家に依頼し、着実に進めていくことを検討したい。（印藤理事長）

・法人化に向けた議論の中で、これまで反対意見は出ていないので、具体的に進めていくべき。（丸山副理事長）

・法人化は、2025年の改選時に合わせ設立できるように検討していきたい。（印藤理事長）

（3）その他（印藤理事長）

・2024年度のヴィンテージは、10月7日～9日に函館市で開催。

2025年度の社会人男女は、10月に帯広市で開催予定。

・JVAロゴ変更に伴い、新レフェリーユニホームは、2024年のカタログ掲載が予定されている。切替措置を検討願う。

4 報告事項

（1）日本協会関係

（2）各委員会関係

・総務委員会（齊藤総務委員長）

渥美参与のご逝去に伴い、香典・供花等の対応を行った。

次回、第5回常任理事会・第2回理事会は、9月10日（土）きたえーる研修室で開催する。

・競技委員会

令和6年度の高校選手権大会は、きたえーるの全館使用不可に伴い、北ガスアリーナで開催を検討している。

令和5年2月の高校新人大会は、岩見沢市で、有観客開催を検討する。

天皇杯皇后杯北海道ブロックラウンドは、9月17日に女子6チーム、18日に男子8チームが参加し、江別市で開催する。

2024年度の佐賀大会から、国民体育大会が、国民スポーツ大会に名称変更され、少年参加チーム数が24から10に減となる。

・審判委員会

9月16～18日の横田杯で昨年コロナの関係で実施できなかった日B審査会の実技を実施し、2021年度の審査会を終了予定。

2022年度のB級審査会を大学秋リーグ（旭川）で実施予定。

8月10日から延期になっていたA級審査会（釧路阿部、札幌尾上）が大阪にて開催。

- ・強化委員会（奥山強化委員長）
栃木国体チーム及びスタッフが決定した。
8月11日～13日にJOC選抜選考合宿をとわの森三愛高校で開催。
- ・加盟団体
旭川協会 8月26日～28日に旭川協会理事長杯（プレ北海道インターハイ男子大会）を開催する。（川崎審判委員長）
ビーチ連盟 石狩あそび一ちは、海開き中は使用不可のため、豊浦海浜公園で開催。
次年度以降、ドリームビーチや留萌等の代替地を検討中。ビーチ連盟（高橋競技委員長）
中体連 中体連全道伊達大会は、制限付き有観客で行ったが、地元の徹底したコロナ対策により体調不良者等はなく終了した。
- ・その他
審判資格について、若手の発掘・育成に向けて日Cから始められるように審判委員会で検討願う。（印藤理事長）

5 閉会

議事録署名人

理 事 長

印藤 智一

議事録署名人

家 近 昭彦

議事録署名人

奥 山 諭